

超音波画像診断装置一式 貸借仕様書

設置場所：検査科（生理検査室）

沖縄県立中部病院

- 1 調達機器 超音波画像診断装置 一式
(その他付属品、搬入、据付、調整等を含む)
- 2 契約期間 納品完了日から5年間(60カ月)
- 3 設置場所 沖縄県立中部病院 検査科(生理検査室)
- 4 一般条項
 - 4.1 機器設置に係る対応をはじめ、搬入・据付・配線など工事費・調整費の全ての費用は受注者が負担すること。
 - 4.2 機器設置に係る対応をはじめ、搬入・据付・配線等については当院の職員と協議の上、その指示に従うこと。
 - 4.3 作業は、納期、作業期間の日程を当院の職員と事前に打ち合わせし、その日程に従い完了すること。
 - 4.4 受注者は納品前に現地下見を病院担当者立会のもと行い、問題が生じる可能性がある場合には、その旨を病院担当者に報告し、設備対応すること。
 - 4.5 機器の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。
 - 4.6 搬入・据付時に建物および物品に損傷が起きた場合、受注者が責任を持って現状復帰すること。
 - 4.7 試運転・調整・確認・機器清掃終了後に引き渡しされること。
 - 4.8 機器設置においては通常業務に支障のないように行うこと。
- 5 超音波診断装置本体は以下の要件を満たすこと。
 - 5.1 走査方式は、電子コンベックス走査方式、電子リニア走査方式、電子セクタ走査方式が可能であること。
 - 5.2 CWDモードに対応していること。
 - 5.3 心電図表示が可能であること。
 - 5.4 観察モニタは23インチ以上の取っ手付き液晶モニタで、Full HD(1920×1080)以上の解像度を有すること。
 - 5.5 視野深度は50cm以上であること。
 - 5.6 コンベックスプローブで高画質を維持し、最大140度まで視野角を広げる機能を有すること。
 - 5.7 生体を圧迫開放することで生じた速度情報を利用し、組織の硬さ情報を映像化する機能を備えており、配置したROI内の歪み(Strain)の比も計算し表示可能であること。

- 5.8 モーションアーチファクトを除去するアルゴリズムを用いて、微細で 3cm/sec 以下の低速な血流を 50f/s 以上のフレームレートで捉える血流イメージングは非造影でも末梢の血管まで表示すること可能であること。
- 5.9 Contrast Harmonic Imaging (CHI) において、広帯域ドプラ法による映像モードや、モーションアーチファクトのみを除去するフィルタにより低流速血流を描出できるようにした血流強調表示機能による映像モードを備えていること。
- 5.10 高音圧バースト波の送信によって組織を局所的に変位させることで、組織の変位が伝搬する速度情報（せん断波伝播速度）の映像化が行える機能を備えており、伝播状態を等高線表示する Propagation 表示を有すること。
- 5.11 Shear Wave において、標準偏差の小さい箇所を自動的に検出し、その平均値を自動で算出する機能を備えていること。
- 5.12 Shear Wave において、心電図同期が可能であること。
- 5.13 Shear Wave の周波数成分ごとの伝搬速度のばらつき(Dispersion slope)を解析し、カラーMap 表示可能であること。Dispersion slope は、組織の弾性を推定する Shear Wave Elastography と同一のスキャンで取得可能であり、任意の ROI で計測した計測結果が同時に表示可能であること。
- 5.14 組織内の超音波周波数依存性減衰係数を推定できるアプリケーションが搭載でき、その減衰係数をカラーMap 表示し、指定した ROI 内の減衰係数を [dB/cm/MHz]の単位で計測可能であること。
- 5.15 Shear Wave および減衰係数値、Dispersion 表示、Propagation 表示の計測を同一断面、位置で一括して取得、表示する機能を有すること。
- 5.16 ワンボタンで Biplane disk summation 法による LV の EF 計測と同時に GLS 算出が可能な Auto EF 機能が搭載でき、左心室の心尖四腔像、三腔像、二腔像で計測可能であること。
- 5.17 心臓 2D 壁運動解析アプリケーションは、グローバルな壁運動指標およびピーク到達時間を含む局所壁運動指標の各々に関する時系列的な出力を有し、特にポーラマップ表示により左室全体の壁運動評価が可能であること。
- 5.18 心臓 2D 壁運動解析アプリケーションは、初期輪郭自動トレースおよび解析が左房、右室、右房すべての腔で使用可能であること。
- 5.19 DICOM 接続で、既存 Storage サーバー・MWM サーバーに対応していること。
- 5.20 DICOM SR において、既存心エコーレポートに対応可能であること。
- 5.21 ダイアル付きのトラックボールを搭載可能であること。
- 5.22 12.1 インチ以上の液晶モニターで、約 15° の範囲でタッチパネルの傾斜角度

が調整可能であること。

5.23 ゼリーウォーマを搭載可能であること。

6 超音波画像診断装置用プローブは以下の要件を満たすこと。

6.1 コンベックスプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 1.8MHz～6.4MHz 以上に対応したものであること。

6.2 セクタプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 1.5MHz～6.0MHz 以上に対応したもの、かつプローブ保持部の高さは 82mm 以下であること。

6.3 リニアプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 8.8MHz～24.0MHz 以上に対応したものあること。

6.4 リニアプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 4.0MHz～18.3MHz 以上に対応したものであること。

6.5 リニアプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 3.0MHz～11.5MHz 以上に対応したものであること。

6.6 リニアプローブはマトリックスアレイ対応でかつ周波数が 2.8MHz～9.0MHz 以上に対応したものであること。

7 搬入据え付け及び調整等

7.1 調達物品の搬入に要する要請及び据え付け、稼働のための調整等を行うこと。

7.2 装置の納入場所については、沖縄県立中部病院と協議すること。

7.3 搬入及び据え付け、調整にあたり建物の改修等を行う必要が生じた場合は、納入者の負担で行うこと。なお、納入場所の面積、設備等の詳細は沖縄県立中部病院に問い合わせること。

7.4 装置設置にあたり別途電源、配線、配管等を必要とする場合は、納入者の負担で行うこと。

8 保守契約は以下の要件を満たすこと

8.1 年間を通じて速やかな故障連絡体制が整備されていること。

8.2 メンテナンスサービスは迅速対応ができる体制にあり、十分な人員、技術力、器材、部品、設備等が整備されていること。

8.3 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。

8.4 本調達品の保障期間は納入日から5年間とし、無償にて定期点検、調整等を随時行うこと。

8.5 調達物品は、納入後においても稼働に必要な消耗品、及び故障時に対する交

換部品の安定した供給が確保されていること。

9 その他

- 9.1 当院ネットワークと機器との接続に要する費用をすべて含むこと。
- 9.2 本仕様書に記載なき事項並びに不明な点は発注者と受注者とが協議して実施するものとする。